

防水板事業部
WATER BARRIERBOARD

 **日エマシナリー株式会社**

人と街を守る防水板

近年の都市部を中心に発生する浸水災害は、局部的大雨(ゲリラ豪雨)、台風の大型化など猛烈な雨が降ることにより発生しています。

この雨によって発生した水がスムーズに排出されれば浸水被害は発生しません。

しかし近年の都市部には、それを妨げる問題点が存在しています。

アスファルトなど人口的な地表面の増加、下水処理能力の限界、洪水氾濫危険区域への都市の形成等に加え、

都市部では地下鉄、地下街といった地下空間の利用も増えており、溢れ出した水が地下空間へ浸水被害をもたらすこともあり、実際死亡事故も発生しています。

これらを背景に浸水被害を防ぐために、日工マシナリーでは長年培った水門技術を生かして、防水板(タウンガード)をラインナップしています。

ビル玄関、通用口、地下街の出入口、工場・倉庫の出入口等、用途に応じた最適な製品を、コストと運用面の両面よりご提案いたします。



浸水防止性能等級表

JIS等級 JIS A 4716	技術評価基準 (一財) 建材試験センター技術評価基準	漏水量
WS-6	<5等級>	1ℓ/(h・m ²)以下
WS-5	<4等級>	1ℓ/(h・m ²)を超え4ℓ/(h・m ²)以下
WS-4	<3等級>	4ℓ/(h・m ²)を超え10ℓ/(h・m ²)以下
WS-3	<2等級>	10ℓ/(h・m ²)を超え20ℓ/(h・m ²)以下
WS-2	<1等級>	20ℓ/(h・m ²)を超え50ℓ/(h・m ²)以下
WS-1		50ℓ/(h・m ²)を超え200ℓ/(h・m ²)以下

脱着式防水板 ハンドルタイプ

自在な納まりであらゆる開口部に対応

【設計範囲】

幅:W=700mm-分割により無制限
防水高:H=200mm~1500mm(@50mm)

【材質】

パネル:アルミ型材
レール:ステンレス

【浸水防止性能】

ws-3~6相当(2等級~5等級)
※保証値ではございません。



納入事例

1連1段式



4連1段式



3連3段式(2辺納まり)



6連1段式(4辺納まり)



側部レール納まり



壁埋め込み型



壁横貼り付け型



壁正面貼り付け型

設置面納まり(下部レール有無)



床直置き型



床フラットレール型



床掘り込みレール型

防水性能
WS-3相当<2等級>

防水性能
WS-5相当<4等級>

防水性能
WS-6相当<5等級>

仕様

脱着式	締付ハンドルタイプ	重量(kg/m ²)	20kg/m ²
側部レール・中間支柱	SUS304	水電ゴム	特殊クロロレンゴム
防水高さ	200~1500mm	アルミパネル	アルミパネル押出し型材 A6063S-T5
防水間口	500mm		
パネル厚	50mm		

設置方法



① 中間支柱を組み立てる
(横分割有りの場合)



② パネルをはめる



③ 締め付けハンドルを締める

脱着式防水板 フリータイプ

ドア枠等に工事不要で取付可能

【設計範囲】

幅:W=700mm-分割により無制限
防水高:H=200mm-1000mm(@100mm)

【材質】

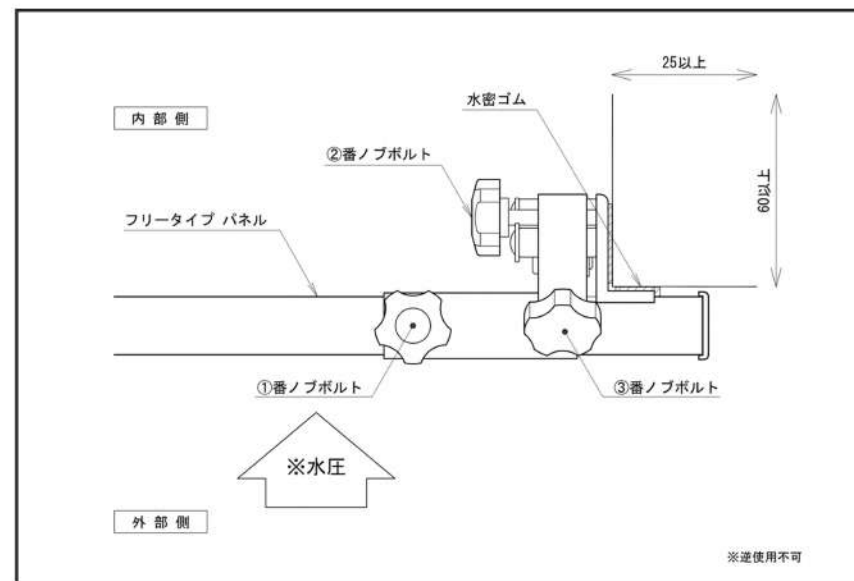
パネル:アルミ型材

【浸水防止性能】

ws-4相当(3等級)
※保証値ではございません。



収まり図 (全体)



納入事例

標準タイプ



2連式



4連式



仕様

脱着式	フリータイプ	開口幅	H200:3100mm H400:2450mm	H600:2150mm H800:1950mm H1000:1800mm
側部レール	不要	重量	17.0kg/m ²	
締付クランプ	アルミダイキャスト	パネル	アルミ押し出し型材 A6063S-T5	
有効高さ	200mm~1000mm(100mm)			
パネル厚	30mm			

設置方法



スイング式防水板

扉の開閉操作で簡単設置

【設計範囲】

お問い合わせください。

【材質】

パネル:ステンレス・アルミ
レール:ステンレス

【浸水防止性能】

ws-3~6相当(2等級~5等級)
※保証値ではありません。



スライド式防水板

横引き操作で広い開口部に最適

【設計範囲】

お問い合わせください。

【材質】

パネル:ステンレス・アルミ
レール:ステンレス

【浸水防止性能】

ws-3~6相当(2等級~5等級)
※保証値ではありません。



納入事例

平常時



設置時



平常時



設置時



納入事例

平常時



設置時



平常時



設置時



保管方法(オプション)

収納フック



収納箱



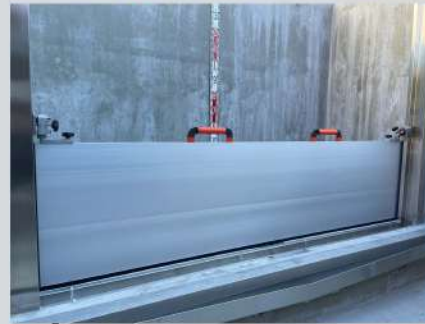
収納ラック



収納台車



試験場



■製品保証

保証期間

施工業者よりの引渡し日(注 1)から1年間とします。

(注 1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

保証内容

取扱説明書、その他の注意書きに基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には下記に例示する免費事項に該当する場合は除き、無料修理いたします。

ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。

免費事項

①天災その他の不可抗力(例えば、地震、津波、噴火、落雷、強風、地盤沈下、火災、土砂災害、漂着物など)による製品の不具合、又はこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

②製品又は部品の経年変化(使用に伴う変化)による摩耗・傷・塗装のはがれや経年劣化(時間に伴う劣化)による変質・変色・めっきの劣化・塗装の剥色、又はこれらにともなう錆、かび、またはその他の不具合

③製品周辺(設置場所及び保管場所)の自然環境、住環境などに起因する製品の結露、凍結、腐食又はその他の不具合(例えば、雑音による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食、風による振動、共振音、高温・低温・多湿による不具合など)

④建物の状況(建築物体の変形、亀裂、破損、隙間)や、設置環境(設置面や床面の状況)など、製品以外に起因する不具合

⑤犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物又はつるや根などの植物に起因する製品の不具合

⑥当社の手配によらない加工、組立、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンス、改造などに起因する不具合(例えば、海砂や魚鱗材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不周による変色、腐食、および必要部分の取り外しなど)

⑦取扱説明書などに記載された警告事項や、取付方法を遵守していない設置方法、またはご使用方法に起因する不具合

⑧引き渡し後の取扱いの誤りによる変形、変質、破損、又は適切な保管方法や維持管理を行わなかったことによる不具合

⑨引き渡し後に行われた製品周辺(設置場所及び保管場所)の工事に起因する不具合

⑩カタログや取扱説明書に記載された製品の性能を超えた場合の不具合(例えば耐風圧性能以上の風圧や、仕様で規定する最大止水高さを超えた水位に起因するものなど)

⑪本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は本来の使用法と異なる使用方法による場合の不具合

⑫建具の破損・変形(当社の手配によらない建具に製品を設置する場合)

⑬漏水・漏水による家財の被害

⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象

⑮施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合

⑯犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。

※本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

点検、お手入れ

●「各種防水板」の機能低下を防ぎ、安心してお使いいただくために、お客様による点検、お手入れを実施してください。

点検と定期的な部品交換について

◇点検

●取説した場合は毎回、未使用の場合は1年に1回程度、下記の要項にて点検を行ってください。

①金具や水栓ゴムに破損、部品の不足、部品のゆがみはないか

②ゴムやプラスチックが劣化していないか

③止水板本体、割部レール、中間支柱などに破損、へこみはないか

上記を点検後、下記「お手入れ方法」を参照し、保管してください。

※点検し、不具合があった場合は製造元、もしくは取扱店にご相談ください。

定期的な部品交換について(有償)

●「各種防水板」に使用されている部品には、表面上は正常に見えても経年劣化により機能が低下するものもあります。

①以下の部品は、動作安全上、止水性能上、定期的に変換することが不可欠です。

※交換時期は適切な点検、お手入れが行われていることが条件です。

※交換時期は、使用状況、使用環境によって大きく異なります。

(定期交換部品と交換時期)

定期交換部品(消耗品)	交換時期
水栓ゴム	5年
割付ハンドル樹脂	5年

※年数は部品毎の交換を示すものであり、製品全体の耐久回数を示すものではありません。

※「定期交換部品」とは、「経過年数、動作回数などにより、製品機能及び性能を損なうおそれがあらかじめ想定できる部品」です。「点検時に異常が認められたもの」「不測の故障が発生した場合」については、その都度、交換又は修理をご依頼ください。

※定期交換部品は予告なく変更する場合があります。

◇お手入れの仕方

●下記お手入れを実施後、各部品をよく乾燥させてから、収納場所に片付けて保管してください。

スチール、ステンレス、アルミ、ゴム、プラスチック部品について

●雨などにより、泥、ホコリ等が付着しますと錆の発生を招き、美観上からも好ましくありません。

●製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とすのち、固く絞った布などで水分をきとってください。

●ゴム部はこすらず布で押さえつけるように拭き取ってください。

●水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。

●なお、強風の隙(特に台座の場合)は、電分が内蔵部まで飛来することがあるので、風が収まったのち、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

スチール、ステンレス、アルミ、ゴム、プラスチック部品の共通注意事項

●製品のキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。

●酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

ステンレス製品の注意事項

●ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。

●初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。

●泥、ほこり、塩水、排気ガスの有害成分、洗浄剤、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展しますので、早めの清掃が必要です。

nikko 日エマシナリー株式会社



【本社】
〒278-0013
千葉県野田市上三ヶ尾259
TEL : (04)7122-0451
FAX: (04)7122-0458
E-mail: machinery@nikko-net.co.jp



【関西支店(日工本社ビル内4階)】
〒674-8585
兵庫県明石市大久保町江井島1013-1
TEL : (078)947-3399
FAX: (078)947-3416

